

17世紀のイタリアバロック音楽

モントヴェルディとその時代の作品を集めて



梅津 樹子
(チェンバロ)



能登 伊津子
(オルガン)



高橋 絵里
(ソプラノ)



古橋 潤一
(リコーダー)



小池 まどか
(ヴァイオリン)

Program

Alessandro Grandi : Lauda Sion Salvatorem

A. グランディ : シオンよ 主を讃えよ

Dario Castello : Sonata Quarta

D. カステッロ : ソナタ第 4 番

Giuseppe Scarani : Sonata Prima

G. スカラニー : ソナタ第 1 番

Claudio Monteverdi : Jubilet

C. モントヴェルディ : 歓呼せよ

他

2019 年 **11**月**4**日 (月・祝)

16:00 開演 **15:30** 開場

カトリック北仙台教会
(仙台市青葉区通町 2-5-25)

* 駐車可能ですが、なるべく公共交通機関でお越し下さい *

・問い合わせ・

マーベラス・スタジオ

E-mail : labmama11@ybb.ne.jp 090-2973-7958

・プレイガイド・

(株)ヤマハミュージックリテイリング 仙台店

カワイ仙台

藤崎プレイガイド

・後援・

(株)ヤマハミュージックリテイリング 仙台店

カワイ仙台

(公財) 仙台市市民文化事業団

河北新報社

全席自由

前売り券

一般 **3500円**

ペア券 **6500円**

学生券 **2000円**

当日券はそれぞれ**500円増**

主催：17世紀のイタリアバロック音楽実行委員会

マネジメント：マーベラス・スタジオ

プロフィール

高橋 絵里 (たかはし えり) ソプラノ

仙台在住。宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業。アムステルダム音楽院において、ルネサンス、バロック期の声楽を学び卒業。これまでに声楽を布田庸子、遠藤恭子、鈴木優子、マックス・ファン・エグモント、ペーター・コーイ、ハワード・クルーク各氏に師事。各地の国際古楽祭にソリストとして出演するほか、韓国やイギリスに招聘され演奏を行う。BCJやオランダ・バッハ協会の団員としてツアーや録音に参加。仙台クラシックフェスティバル、柏崎古典フェスティバル、上野の森コンサート等出演多数。仙台を拠点に演奏、指導を行う。尚絅学院大学非常勤講師及び聖歌隊指揮者。平成25年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

古橋 瀧一 (ふるはし じゅんいち) リコーダー

桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒業。第30回ブルー・ジュ国際古楽コンクール入選。日本の主要古楽器アンサンブルのメンバーとして音楽祭、演奏会に出演。CDの録音にも多数参加している。17世紀イタリア・スペインの音楽を主に演奏するアンサンブル、メディア・レジストロ主宰。また、その時代の楽譜の出版も手掛けている。CD『メディア・レジストロ』『スペインッシュ・プログレッシヴ・バロック』リリース。2017年にはスペイン大使館にて演奏会を開催し好評を博した。桐朋学園大学古楽器科非常勤講師。

小池 まどか (こいけ まどか) ヴァイオリン

仙台市出身。1996年宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。日演連推薦新人演奏会にて仙台フィルと共演。仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。2001年アフィニス財団の奨学金を得てドイツへ留学。帰国した頃からバロックヴァイオリンに興味を持ち始め、バロックヴァイオリンを若松夏美氏に師事。D.モンティ、A.モッチア、F.フェルナンデス、寺神戸亮各氏にレッスンを受ける。第20回国際古楽コンクール山梨第一位。及び栃木蔵の街音楽祭賞受賞。07年、オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパンなどに出演。仙台クラシックフェスティバルに古楽器アンサンブルとして出演。2015年よりモーツァルテウム音楽大学インスブルック・バロック講習会受講し、R.ゲーベル、ヒロ・クロサキ、ミドリ・ザイラー各氏にレッスンを受ける。2017年より、仙台ジュニアオーケストラ講師、宮城学院中学校高等学校オーケストラ班音楽部門指導。2018年より同附属音楽教室音楽アンサンブル講師。Tohoku Baroque Ensemble415メンバー。

梅津 樹子 (うめつ みきこ) チェンバロ

山形県立山形北高等学校音楽科卒業後、上野学園大学音楽学部及び同専攻科にてチェンバロを学ぶ。94年、フランス国立パリ地方音楽院(C・N・R de Paris)に留学し、栄誉賞付きディプロムを得て卒業。チェンバロを山田賢、渡邊順生、ノエル・スピース、柴形亜樹子、アンサンブルを、故大橋敏成、広野詞雄、ケネス・ヴァイス、エレヌ・デュフルの各氏に師事。帰国後は、ソリストとしてリサイタルを定期的に開催、また通奏低音奏者として、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団との共演、仙台クラシックフェスティバルなどに参加している。天童市美術館ミュージアムコンサート(バロックシリーズ)ではオーガナイザーを務め、このシリーズで共演したオーボエ奏者本間正史氏、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者中野哲也氏との録音CD「スティンズビー・シニアとクレーニヒ-浜松市楽器博物館コレクションシリーズ vol122」はレコード芸術にて準特選となった。現在、山形チェンバロミュージシャンズ(Y・C・M)メンバー、宮城学院女子大学非常勤講師。

能登 伊津子 (のといつこ) オルガン

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科、グレゴリオ音楽院オルガン本科、専攻科卒業。オルガンを鈴木雅明、岩崎真実子の各氏に師事。1994年白川イタリアオルガン音楽アカデミーに於てピストイア賞受賞、翌年イタリアピストイアオルガン音楽アカデミーに招待される。同アカデミーに於てL.F.タリアヴェーニ、J.L.ウリオールの各氏に師事。1998年スペイン政府より奨学金を得てダローカ国際古楽セミナーに参加。オルガン、チェンバロ奏者として、数多くの演奏会に出演している。初期イタリア、スペインバロックをレパートリーとするアンサンブル「メディア・レジストロ」のメンバー。CD「メディア・レジストロ」「スペインッシュ・プログレッシヴ・バロック」(レコード芸術誌 準特選盤)をリリース。